



ImPACTプログラム

「ユビキタス・パワーレーザーによる

安全・安心・長寿社会の実現」

第2回シンポジウム

主催：国立研究開発法人 科学技術振興機構

日時：2016年6月13日（月） 13:00-17:30（開場12:30）

場所：JST東京本部別館 1Fホール

（意見交換会 17:40-19:00 市ヶ谷駅近辺で開催予定）

アクセス：http://www.jst.go.jp/koutsu_map2.html

参加費：無料（ただし、意見交換会への参加を希望される方は別途参加費が必要です）

定員：定員130名（定員になり次第、締め切らせて頂きます）

申込方法：以下ホームページから申込をお願いします。

<https://impact.jst.go.jp/sympo/sano2/>

ご挨拶

ImPACTプログラム「ユビキタス・パワーレーザーによる安全・安心・長寿社会の実現」では、大型の高出力パルスレーザーを手のひらサイズまで超小型化する技術や、究極の光といわれ世界にまだ2つしかないX線自由電子レーザーを超小型化する技術を確立し、いつでも・どこでも・だれでも使えるようにすることで、新技術・新産業を創出することを目的とした開発を進めております。

プログラムがスタートして約1.5年が過ぎ、レーザー電子加速における加速長の短縮化技術やマイクロチップレーザーの高出力化などに大きな成果が得られております。本シンポジウムでは現在のプログラムの状況・成果をご報告し、皆様から多くのご意見を頂いてプログラムへフィードバックすることで、より良いプログラムにしていきたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

ImPACT プログラム・マネージャー 佐野雄二

プログラム（予定）

※講演者、題目、時間は変更となる可能性があります。ご了承ください。

13:00~13:05	開会挨拶	佐野雄二	ImPACT プログラム マネージャー
13:05~13:20	来賓挨拶		総合科学技術・イノベーション会議 来賓
13:20~13:35	プログラム概要・進捗報告	佐野雄二	ImPACT プログラム マネージャー
13:35~15:05	第1部 レーザー加速XFEL実証プロジェクト		
	招待講演1：放射光・XFEL施設の現状と将来（仮題）	石川哲也	理化学研究所 放射光科学総合研究センター長
	・レーザー加速統合プラットフォームの開発	兒玉了祐	大阪大学 教授/光科学センター長
	・レーザー加速技術の開発	細貝知直	大阪大学 准教授
	・プラズマチャンネル電源の開発	佐々木徹	長岡技術科学大学 准教授
15:05~15:20	休憩		
15:20~16:30	第2部：超小型パワーレーザープロジェクト		
	招待講演2：青色半導体レーザー積層技術とパルスレーザーへの期待	塚本雅裕	大阪大学 准教授
	・マイクロチップレーザーの開発	平等拓範	分子科学研究所 准教授
	・高出力小型パワーレーザーの開発	川嶋利幸	(株)浜松ホトニクス グループ長
16:30~17:15	第3部：超小型レーザーの応用展開		
	・超小型パワーレーザーによる革新的スマート溶接システムの開発	浅井 知	大阪大学 教授
	・超小型皮膚疾患用ピコ秒レーザー治療機の開発	高橋一哲	(株)ユニタック 副社長
	・航空機構造部材のレーザーピーンフォーミング技術の開発	政木清孝	沖縄工業高等専門学校 准教授
	・セキュリティ応用に向けたテラヘルツ波センシング技術の開発	南出泰亜	理化学研究所
17:15~17:30	全体討議・閉会		
17:40~19:00	意見交換会		

問い合わせ

国立研究開発法人 科学技術振興機構

革新的研究開発推進室 佐野PM 第2回シンポジウム担当

E-mail：impact-sn@jst.go.jp（タイトルを「第2回シンポジウムの件」とし送付ください）



<http://www8.cao.go.jp/cstp/sentan/about-kakushin.html>

<http://www.jst.go.jp/impact/index.html>

<http://www.jst.go.jp/impact/sano/>

